

Safer Future ~ 安全な未来へ ~

運輸安全委員会ニュースレター

Japan Transport Safety Board Newsletter

■ 委員長年頭所感	1
■ 事故等調査事例（鉄道・航空・船舶）	2
■ 事故等調査報告書の公表 / 事故・重大インシデント調査情報	2 3
■ 運輸安全委員会からのお知らせ	2 4

年頭所感



昨年、内外ともに激動のあった 1 年でしたが、そのような中で運輸安全委員会は発足後 4 年目を迎えました。

当委員会は、事故等の防止や被害軽減を目的として航空・鉄道・船舶の 3 モードに関わる運輸事故と重大インシデント調査を行い、調査報告書を公表するとともに、必要な改善措置等を求める勧告や意見などの提言を発出しております。

当委員会は、昨年 4 月に福知山線列車脱線事故調査報告書に関する検証会合メンバーから「運輸安全委員会の今後のあり方についての提言」の提出を受け、事故調査の透明性の確保、分かりやすい報告書作成、適時適切な事故調査情報の提供及び被害者対応の充実などの具体的なテーマを設定し、委員会全体が一丸となって業務改善への取り組みを進めております。本業務改善の実現に当たっては、昨年 7 月には外部有識者 5 名からなる運輸安全委員会業務改善有識者会議を設置し、有識者の方々からのご意見をお伺いしながら進めており、本年 3 月には、今後の委員会活動の指針として業務改善アクションプランを作成することとしております。

また、国際的な取り組みとしましては、昨年 1 月の第 20 回国際船舶事故調査官会議 (MAIIF20、バハマ)、9 月の国際航空事故調査員協会 (ISASI) 年次セミナー (アメリカ) にそれぞれ事故調査官が参加したほか、5 月に開催された国際運輸安全連合 (ITSA) 委員長会議 (ノルウェー) には、私と事務局員の 2 名で出席しました。各々の会議においては、我が国が行った事故調査の結果等を発信するとともに、各国の事故調査を取り巻く最新の状況についての情報も吸収するよう努めております。

本年も、当委員会の活動が運輸安全の一層の向上につながるよう、タイムリーで積極的な情報発信を行っていくことに留意し、全力で取り組んで参りたいと存じますので、倍旧のご協力をよろしくお願い申し上げます。

新年を迎え、皆様にとって健やかな一年となるよう心からお祈り申し上げます。

平成 24 年 1 月

運輸安全委員会委員長

後藤昇弘